



交通安全情報No.42

ストップ・ザ・交通事故

令和3年8月10日
警察本部交通部
交通総合対策センター

< 飲酒運転根絶に向けた取組の推奨 >

◎ 飲酒運転の代償

飲酒運転



飲酒運転による影響

飲酒は、人の判断能力・運動能力の低下を招き、交通事故を起こす可能性があります。
また、罰則等多大な代償を負うことになります。

交通事故



【罰則】

酒酔い運転

5年以下の懲役又は
100万円以下の罰金

酒気帯び運転

3年以下の懲役又は
50万円以下の罰金

◎ 飲酒運転による人身交通事故発生件数（概数）

北海道 令和3年7月末 **57**件（前年比 **+11**件）

飲酒運転による死亡事故も起きています。
お酒を飲んだら車の運転は絶対にやめましょう！

◎ 飲酒運転を見逃さない取組

体内に保有されたアルコールが分解されるまでの時間は、飲酒量や体格、体質、体調等によって異なります。

○ アルコールチェッカーの活用

飲酒運転や二日酔い運転防止のため、車を運転する前にアルコールチェッカーで確認しましょう。

※ 測定結果は、飲酒の有無を判断するための判断材料の一つであって、運転の可否を判断するものではありません。



○ ドライブレコーダーの設置・活用

ドライブレコーダーは事故発生時の状況確認や運転者に対する規範意識の醸成と飲酒運転の抑止効果につながります。



STOP DRUNK DRIVING